

大 阪 大 学  
大学院情報科学研究科  
令和4（2022）年度4月入学  
博士後期課程 学生募集要項  
（一般選抜・冬季）

この募集要項は、令和4（2022）年4月入学博士後期課程に関する5つの入学試験のうちの○印に該当します。

	入学試験の名称
	令和4（2022）年度博士後期課程（一般選抜・夏季）
○	令和4（2022）年度博士後期課程（一般選抜・冬季）
	令和4（2022）年度博士後期課程（外国人留学生対象特別選抜・夏季）
	令和4（2022）年度博士後期課程（外国人留学生対象特別選抜・12月）
	令和4（2022）年度博士後期課程（インフォメーションテクノロジー英語特別コース）

令和3年9月

**【注意事項】**

出願者は、書類提出前に、志望する専攻の受入予定教員（あるいは専攻長）に入学後の研究計画等について必ず連絡をとってください。

その際、TOEIC 等を受験していない等の理由により、成績の提出ができない方は、必ずその旨申し出てください。

なお、情報基礎数学専攻は、TOEICの成績提出は不要です。

教員連絡先は情報科学研究科ホームページで調べてください。

<https://www.ist.osaka-u.ac.jp/japanese/introduction/organization.html>

## 1. 情報科学研究科教育目標等について

### 〔情報科学研究科教育目標〕

大阪大学は、「知の創造、継承及び実践」を使命とし、「地域に生き 世界に伸びる」をモットーに、学問の独立性と市民性を備えた世界水準の高度な教育研究を推進し、次代の社会を支え、人類の理想の実現をはかる有能な人材を社会に輩出することを目的とします。

その目的の実現のため、研究科及び全学的な教育研究組織において、

- 最先端かつ高度な専門性と深い学識
- 高度な教養
- 高度な国際性
- 高度なデザイン力

を身につけた知識基盤社会のリーダーとなるべき人材を育成します。

大阪大学の教育目標のもと、情報科学研究科では、「我々人類が、豊かで充実した社会生活を営むためには、情報技術を核とする知識基盤社会の実現が必要不可欠であり、これを可能にする新しい技術や新しいシステムを生み出し、社会に変革をもたらすための学問が情報科学である」との理念に基づき、情報科学技術に関する最先端かつ高度な専門性と深い学識を身につけ、当該分野を牽引し、新たな学術領域を開拓する技術者、研究者、および、教育者等を輩出することを目的としています。

#### <博士前期課程>

##### ○最先端かつ高度な専門性と深い学識

授業科目及び研究活動により、情報科学技術分野や数学・生命科学などの関連分野、あるいは多様な応用分野における最先端かつ高度な専門知識ならびに技能を持った人材の育成を目指します。

##### ○高度な教養

授業科目や研究活動を通して、専門とする分野やその関連分野に関わる広範な教養を持った人材の育成を目指します。

##### ○高度な国際性

授業科目及び研究活動により、国際的な視野を持って活動できるコミュニケーション力を持った人材の育成を目指します。

##### ○高度なデザイン力

研究活動を通して、人と協働してプロジェクトを遂行できるマネジメント力を持った人材の育成を目指します。

授業科目や研究指導により、情報科学は常に人類の幸福につなげるべき技術であるという高い倫理観を持った人材の育成を目指します。

#### <博士後期課程>

##### ○最先端かつ高度な専門性と深い学識

授業科目及び研究指導により、情報科学技術分野や数学・生命科学などの関連分野、および応用分野における最先端かつ高度な専門知識ならびに技能を持った人材の育成を目指します。

##### ○高度な教養

授業科目及び研究指導を通して、専門とする分野やその関連分野に関わる広範な教養を持った人材の育成を目指します。

##### ○高度な国際性

国際性涵養科目及び研究指導により、国際的な研究活動ができるコミュニケーション力を持った人材の育成を目指します。

##### ○高度なデザイン力

演習やセミナー科目及び研究指導を通して、当該分野において自ら設定した課題を探究できる研究能力を持ち、

人と協働してプロジェクトを遂行できるマネジメント力を持った人材の育成を目指します。

授業科目や研究指導により、高い倫理観と世界的な視野で技術者・研究者を先導するリーダーシップ力を持ち、プロジェクトやビジネスプロジェクトを率いることが人材の育成を目指します。

#### 【情報科学研究科学学位授与の方針】（ディプロマ・ポリシー）

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所属研究科において定める専門分野に関する高度な知識・技能、教養、国際性及びデザイン力を身につけ、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上で審査及び試験に合格した学生に学位を授与します。

##### （学習目標）

###### ○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・専門分野における最先端かつ高度な知識・技能を有している
- ・課題解決のために最先端かつ高度な知識・技能を活用できる

###### ○高度な教養

- ・高度で幅広い知識を有している
- ・複眼的、俯瞰的に思考し、多角的に評価できる

###### ○高度な国際性

- ・異なる言語・文化を深く理解できる
- ・言語・文化の相違を超えて広く交流できる

###### ○高度なデザイン力

- ・社会・学問における本質的かつ複雑多様な課題を発見し、解決の道筋を構想できる
- ・社会・学問における本質的かつ複雑多様な課題の発見・解決のために、様々な分野の人と協働できる

大阪大学のディプロマ・ポリシーのもと、情報科学研究科の博士前期課程および博士後期課程では、以下のよう  
に、体系的なコースワークにより所定の単位を修得した上で、必要な研究指導を受けて作成した学位論文を提出し、  
要件を満たす学生に、博士前期課程では修士（情報科学、理学、または工学）を、博士後期課程では博士（情報  
科学、理学、または工学）を授与します。

##### <博士前期課程>

###### ○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・当該分野に関する十分な学識を有している
- ・専攻分野における研究能力や高度の専門性が求められる職業を担うための最先端かつ高度な知識・技能を身につけている

###### ○高度な教養

- ・修士学位論文を明瞭かつ平明に記述することができる
- ・職業人さらに社会人としての高い倫理観や専門性を社会で生かすための高度な教養を身につけている

###### ○高度な国際性

- ・専攻分野において、国際的な視野を持ってコミュニケーションできる学力、コミュニケーション力を有している

###### ○高度なデザイン力

- ・修士学位論文に専攻分野の発展に貢献する研究内容が含まれている

##### <博士後期課程>

###### ○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・博士学位論文の学術内容を含む分野に関する最先端かつ深い学識を有している
- ・専攻分野における研究能力や高度の専門性が求められる職業を担うための最先端かつ高度な知識・技能を身につけている
- 高度な教養
  - ・博士学位論文が明瞭かつ平明に記述することができる
  - ・職業人さらに社会人としての高い倫理観や人類の幸福に資する研究開発を立案するための高度な教養を身につけている
- 高度な国際性
  - ・独立した研究者として世界的な視野で研究を遂行できる学力、コミュニケーション力を有している
- 高度なデザイン力
  - ・博士学位論文が、情報科学技術の学術領域において、未知の事象や事物の発見、新しい理論の構築と展開、新しい技術、機器、手法ならびにアルゴリズムの開発や発明と応用、新しい学問の概念の提出など、学理とその応用に関する重要な貢献を果たしている

#### 【情報科学研究科教育課程編成・実施の方針】（カリキュラム・ポリシー）

大阪大学は、学位授与の方針に掲げる高度な知識・技能などを修得させるために、専攻分野に関する科目並びに高度教養教育及び国際性涵養教育に関する高度な授業科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組合せた高度な授業と優れた研究指導を行います。

また、試験及び審査により学修成果を厳格に評価します。

大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもと、情報科学研究科の博士前期課程および博士後期課程では、以下のよう

#### <博士前期課程>

##### 【教育課程編成の考え方】

情報科学研究科の博士前期課程では、情報科学の学術領域を俯瞰し基礎的素養を涵養できる体系的なコースワークのために、専攻ごとの専門性を獲得するための基礎科目のほかに、周辺の重要分野を網羅した境界横断的な科目を配置しています。また、分野横断型融合科目や、産業界などの外部から講師を招いて最新の技術動向をカバーする特別講義科目、国内外の企業や研究機関へのインターンシップ科目、プロジェクト型演習科目など実践力を育てる科目を配置しています。さらに、高度な教養のために他専攻、他研究科等の科目を配置しています。国際性の涵養については、海外インターンシップ科目や世界の最先端研究を理解できるセミナー科目などを配置しています。このような専門教育・高度教養・国際性を涵養する情報科学技術に係わる高度な授業を開講するとともに優れた研究指導を行います。

##### 【学修内容及び学修方法】

講義を主体とする基礎科目、境界横断的科目、分野横断的科目や特別講義科目、実地体験を主体とするインターンシップ科目、学生の自主的な学びを特に求めるプロジェクト型演習科目やセミナー科目、さらに研究指導により、高度な技術者・研究者としての素養が身に付くように配慮するとともに、社会の多様な要請に対応した幅広い知識を修得できるようにしています。

##### 【学修成果の評価方法】

シラバスに記載されている学習目標の達成度に対して、試験や課題、レポートなどの相応しい方法を用いて、厳格に評価します。

#### <博士後期課程>

##### 【教育課程編成の考え方】

情報科学研究科の博士後期課程では、情報科学の学術領域における高度な専門的知識を最先端の学識へと深化

させる体系的なコースワークのために、最先端の科学・技術を修得できる専門科目に加え、国内外の企業や研究機関等へのインターンシップ科目などを配置しています。国際性の涵養については、海外インターンシップ科目や世界の最先端研究を理解できるセミナー科目などを配置しています。このような教養・デザイン力・国際性を涵養する情報科学技術に係わる高度な授業を開講するとともに優れた研究指導を行います。

#### 【学修内容及び学修方法】

専門科目は内容に応じて、講義またはセミナー形式で実施します。インターンシップ科目は、実地体験を主体とし、事前学習、事後発表を行います。セミナー科目では学生が特に自主的に活動します。これらにより、新しい学術的価値を生み出す能力を養います。また、それを活用して新しい社会的価値を創出できる人材の育成を行います。

#### 【学修成果の評価方法】

シラバスに記載されている学習目標の達成度に対して、試験や課題、レポートなどの相応しい方法を用いて、厳格に評価します。

博士前期課程・後期課程を通じて、留学生のために英語で学修できる情報科学英語特別コースを設置しています。留学生以外の学生もこのコースの科目を履修することができ、国際性を涵養することができるようにしています。

#### 【情報科学研究科の入学受け入れの方針】（アドミッション・ポリシー）

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、学部又は大学院（修士）の教育課程等における学修を通して、確かな基礎学力、専門分野における十分な知識及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。

このような学生を適正に選抜するために、研究科・専攻等の募集単位ごとに、多様な選抜方法を実施します。

情報科学技術は、シャノンの情報理論に始まり、その後ハードウェア、ソフトウェア、コンテンツへとその対象領域を拡大させ、さらにそれらを体系化することで抽象的で再利用可能な知識となり、独自の学問体系が構築されてきました。さらに、データから価値を見出し、知識を生み、そして知能へと進化を続けています。情報科学研究科では、情報科学の根幹はもちろん、生命科学・数学・数理科学などの情報科学の基盤となる分野や技術開発において優れた研究実績を生みだしています。これらを本研究科のもつシーズとしてさらに強化し、関連分野の発展を支え、研究成果を社会に還元することで、「地域に生き世界に伸びる」国際研究開発拠点を目指します。

このような理念に従い、本研究科は大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、以下のようにアドミッション・ポリシーを定めます。

#### <博士前期課程>

##### 【求める人材像】

国内外を問わず、高度な情報社会の実現を可能にする情報科学技術の確立と深化を担う意欲を持った学生を求めます。このため、理工系の学部で情報科学技術を学んできた人、情報科学技術の生物学や医学などへの応用や展開に興味を持つ人を求めます。さらに、幅広い人材を求めていることから、生命科学・数学・数理科学などの勉学や研究に取り組む意欲がある人、すべての学術領域と関わり合うことから、情報科学技術以外の分野を学んできた人も求めます。国内に限定することなく、海外からも秀でた学生を求めます。

##### 【入学選抜の基本方針】

上記のような人材を受入れ、また多様な学生を確保するため、本研究科は一般選抜、社会人特別選抜、推薦入学特別選抜、学部3年次学生を対象とする特別選抜、外国人留学生対象特別選抜、インフォメーションテクノロジー英語特別コース入学選抜（4月入学及び10月入学）を行います。

##### 【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

一般選抜では、理工系の学部で情報科学技術を学んできた人、情報科学技術の生物学や医学などへの応用や

展開に興味を持つ人等を筆記試験及び口頭試問等によって選抜します。

社会人特別選抜では、社会人で数学の勉学や研究に取り組む意欲がある人を口頭試問等によって選抜します。

推薦入学特別選抜では、情報科学技術以外の分野を学んできた人を口頭試問等によって選抜します。

学部3年次学生を対象とする特別選抜では、学部3年次学生を対象に筆記試験及び口頭試問等によって選抜します。

外国人留学生対象特別選抜やインフォメーションテクノロジー英語特別コース入学者選抜（4月入学及び10月入学）では、海外から秀でた人を筆記試験や口頭試問等によって選抜します。

#### <博士後期課程>

##### 【求める人材像】

国内外を問わず、より高度な情報社会の実現のため、情報科学技術の確立と深化の上に情報科学の学術領域にイノベーションを創起する意欲を持った学生を求めます。理工系などの研究科(博士前期課程・修士課程)で情報科学技術を学んできた人、情報科学技術の生物学や医学などへの応用や展開に興味を持つ人、情報科学の学術領域への貢献を強く願っている人、さらに幅広い人材を求めるために、生命科学・数学・数理科学などの情報科学以外の研究科等に在籍する人も受け入れます。国内に限定することなく、海外からも秀でた学生を求めます。

##### 【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受入れ、また多様な学生を確保するため、本研究科は一般選抜(4月入学及び10月入学)、外国人留学生対象特別選抜(4月入学及び10月入学)、インフォメーションテクノロジー英語特別コース入学者選抜(4月入学及び10月入学)を行います。

##### 【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

一般選抜(4月入学及び10月入学)では、理工系などの研究科(博士前期課程・修士課程)で情報科学技術を学んできた人、情報科学技術の生物学や医学などへの応用や展開に興味を持つ人、情報科学の学術領域への貢献を強く願っている人、情報科学以外の研究科等に在籍する人等を口頭試問と必要に応じた筆記試験等によって選抜します。

外国人留学生対象特別選抜(4月入学及び10月入学)やインフォメーションテクノロジー英語特別コース入学者選抜(4月入学及び10月入学)では、海外から秀でた人を口頭試問と必要に応じた筆記試験等によって選抜します。

## 2. 専攻別募集人員

専攻名	募集人員
情報基礎数学専攻	5
情報数理学専攻	若干名
コンピュータサイエンス専攻	
情報システム工学専攻	
情報ネットワーク学専攻	
マルチメディア工学専攻	
バイオ情報工学専攻	

## 3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位(学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則(昭和28年文部省令第9号)第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下各号において同じ。)を有する者及び令和4年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月31日までに学位取得見込みの者

- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）  
大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 短期大学、高等専門学校、各種学校等の卒業業者やその他の教育施設の修了者で、令和4年3月31日までに24歳に達する者で、かつ本研究科において実施する個別の出願資格審査により修士又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

#### 4. 出願方法

- (1) 1専攻のみを選んでください。
- (2) 志望する専攻の受入予定教員（あるいは専攻長）に、必ず連絡を取ってください。  
その際、TOEIC等を受験していない等の理由により、成績の提出ができない者は、必ずその旨申し出てください。  
連絡先は、情報科学研究科のホームページで確認してください。

<https://www.ist.osaka-u.ac.jp/japanese/introduction/organization.html>

#### 5. 出願資格審査

前記3. 出願資格(7)～(8)により出願しようとする者は、事前に出願資格審査を受ける必要があります。出願資格を認められた者のみが願書を提出できます。申請書類は郵送してください。簡易書留郵便を利用し、申請書類等を一括して封筒(角形2号(33×24cm))に入れ、提出期間内に必着するように郵送してください。

封筒の表に「博士後期課程(一般選抜・冬季)出願資格審査申請」と朱書きしてください。

提出期間	令和3年11月29日(月)～令和3年12月3日(金)
申請書類	出願に要する書類等一覧に記載の No. 1～No. 3
提出先	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番5号 大阪大学大学院情報科学研究科 大学院係

但し、やむを得ず持参する場合は、封筒(角形2号(33×24cm))に入れ、次の期間内に大学院係へ提出してください。

令和3年12月1日(水) ～ 令和3年12月3日(金)	9:00～11:30、13:00～16:00
--------------------------------	------------------------

出願資格審査の結果は、令和3年12月16日(木)に郵送します。届かない場合は、出願期間に間に合うように大学院係へ問い合わせてください。



## 6. 出願手続

入学志願者は、事前に、受入予定教員（あるいは専攻長）に連絡をとり確認印をもらったうえで、下記要領で出願してください。出願書類は郵送してください。簡易書留郵便を利用し、出願書類等を一括して封筒（角形2号（33×24cm））に入れ、出願期間内に必着するように郵送してください。

封筒表に「博士後期課程（一般選抜・冬季）」と朱書きしてください。

出願期間	令和4年1月11日（火）～令和4年1月14日（金）	
出願書類	出願資格（1）～（6）	出願に要する書類等一覧の No. 4～15
	出願資格（7）～（8）で 出願資格審査に合格した者	出願に要する書類等一覧の No. 4、5 及びNo. 10～15
提出先	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番5号 大阪大学大学院情報科学研究科 大学院係	

但し、やむを得ず持参する場合は、封筒（角形2号（33×24cm））に入れ、次の期間内に大学院係に提出してください。

令和4年1月12日（水） ～ 令和4年1月14日（金）	9:00～11:30、13:00～16:00
--------------------------------	------------------------

受験票は、令和4年1月21日（金）に郵送します。1月26日（水）までに届かない場合は、大学院係まで連絡してください。

## 7. 検定料 30,000円

支払場所 最寄りの銀行窓口（ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。）  
なお、ゆうちょ銀行は利用できません。

支払方法 本研究科所定の振込用紙を用いて、指定口座に振り込んでください。  
振込手数料は振込者負担です。

銀行から収納印を受けた**検定料振込証明書**を所定の用紙に貼付のうえ、提出してください。

もしくは、検定料納入システムを利用し、クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy利用の銀行決済等により検定料を納入することも可能です。詳細は本研究科ホームページ（トップページ/入試情報/令和4年度（2022年度）学生募集要項）に掲載の「入学検定料支払いの流れ」を参照してください。検定料納入システムにより納入する場合は、検定料収納証明書を送付してください。

- （1） 令和4年3月に本学大学院博士前期（修士）課程修了後、引き続き博士後期課程に入学を志願する者は、検定料は不要です。
- （2） 国費外国人留学生は、大学院係までお問い合わせください。
- （3） 大規模災害により被災した志願者に対し、検定料免除の特別措置を講じます。  
詳細は本研究科ホームページ（トップページ/入試情報）に掲載の「大阪大学入学者選抜における検定料免除について」を参照してください。  
検定料免除を申請する場合は、検定料を払い込まず検定料免除申請書等必要書類を提出してください。

## 8. 選抜方法

- （1） 入学者の選抜は、口頭試問、修士論文、出身（在籍）大学院（大学）の学業成績等を総合して行います。
- （2） 必要と認めた場合は、筆記試験を行います。筆記試験の内容は、受験票送付時に各出願者に別途通知します。
- （3） TOEIC等の成績も参考にします。出願時に提出した場合でも、試験日の再提出を認めます。写しは不可です。但し、TOEIC等の成績が提出できない場合は、口頭試問中に実施する学力試験に代えることがあります。

試験日	時間	科目等
令和4年1月31日(月) ～ 令和4年2月10日(木)	9:00～17:00	筆記試験 (必要と認める場合) 口頭試問

(注) 試験実施日時及び実施場所等の詳細は、受験票送付時に通知します。

## 9. 合格者発表

令和4年2月18日(金) 午後2時から、吹田地区の情報科学研究科A棟内1階掲示板において受験番号で発表のうえ、合否通知書を郵送します。

なお、電話・メール等による合否の問い合わせには応じません。

## 10. 入学時に必要な経費

入学金 …… 282,000円

授業料 …… 535,800円(年額)

入学後、半期分(267,900円)ずつ口座振替により納入することとなります。

- (1) 入学金、授業料の額は、令和3年4月現在のものです。これらは改定することがあります。令和4年度の必要経費は、入学手続き時までに別途お知らせします。
- (2) 令和4年3月に本学大学院博士前期(修士)課程を修了し、引き続き博士後期課程に入学する者は、入学金は不要です。
- (3) 入学後、国費外国人留学生として在学する場合には、入学金、授業料は不要です。
- (4) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

## 11. 個人情報の取扱い

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報は、「入学者選抜(出願処理、選抜試験実施)」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。  
なお、合格者の個人情報は合格発表日以降、入学後に履修可能な教育プログラムを案内するために利用することがあります。また、入学者の個人情報は、「教務関係(学籍管理、修学指導)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)」及び「授業料収納に関する業務」を行うためにも利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。
- (3) 上記の業務を行うにあたり、一部の業務を外部の業者に委託する場合があります。  
この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出していただいた個人情報の全部または、一部を提供します。

## 12. 注意事項

- (1) 障がい等のある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を希望する者は、原則として、令和3年12月3日(金)までに大学院係へ連絡してください。
- (2) 出願書類に不備がある場合は、原則として受理しません。
- (3) 出願手続後は、いかなる事情があっても願書記載事項の変更は認めません。
- (4) 入学手続は、令和4年3月10日(木)～3月11日(金)に行います。詳細は、合格者に対し後日通知します。
- (5) 令和4年3月31日までに入学資格(大阪大学大学院学則第23条参照)を満たさない者は、入学許可を取り消します。また、出願事項に虚偽の記載をした者は、入学決定後であっても入学許可を取り消すこ

とがあります。

(6) 振り込まれた検定料は、次の場合を除き返還しません。

- ① 出願したが、受験資格がなかった場合
- ② 出願書類受付期間終了後に書類が到着したため、受理されなかった場合
- ③ 出願書類に不備があり、受理されなかった場合
- ④ 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
- ⑤ 検定料を、誤って二重に振り込んだ場合
- ⑥ その他、大学が返還を認めた場合

上記の場合は、返還請求を行ってください。返還請求の方法は、本研究科大学院係までお問い合わせください。

(7) 不測の事態に伴う入学試験実施への影響と対応は、必要に応じて本研究科ホームページに掲載しますので、必ず確認してください。

(8) 本研究科の博士後期課程の入学試験は、当該入学試験の他「一般選抜・夏季」「外国人留学生特別選抜・夏季」「外国人留学生特別選抜(12月)」「インフォメーションテクノロジー英語特別コース」があります。

(9) 新型コロナウイルスの感染拡大状況によって、本募集要項記載の内容から変更することがあります。最新の情報は、本研究科ホームページにて適宜確認してください。

令和3年9月

《問い合わせ先》

大阪大学大学院情報科学研究科 大学院係

〒560-0871 大阪府吹田市山田丘1番5号

電話 06-6879-4508・4509 (直通)

E-mail office@ist.osaka-u.ac.jp

情報科学研究科ホームページ

URL: <https://www.ist.osaka-u.ac.jp/>

## 出願に要する書類等一覧

### ● 出願資格審査の必要書類

No.	書 類	内 容
1	出願資格審査書 (履歴)	所定の用紙に必要事項を記入してください。
2	出願資格審査書 (研究業績)	所定の用紙に必要事項を記入してください。
3	成績証明書	最終学歴の成績証明書、又はこれに準ずるもので、出身学校が証明したもの。

### ● 出願時の必要書類

4	入学願書 受験票・写真票	入学願書に必要事項を記入し、受入予定教員に確認印を必ずもらってから提出してください。願書には、原則として戸籍に記載の氏名（外国人の場合は住民票又は旅券に記載の氏名）を記入してください。受験票・写真票に3ヶ月以内に撮影した写真を貼付してください。 また、記入の際、消すことができるボールペンは使用しないでください。
5	研究希望調書	所定の用紙に必要事項を記入してください。
6	前期課程成績証明書	出身（在籍）大学長又は研究科長が発行したもの。但し、本研究科を修了した者又は修了見込みの者は提出不要です。
7	学部成績証明書	出身大学長又は学部長が発行したもの。但し、本学理学部・工学部・基礎工学部を卒業した者は提出不要です。
8	最終出身学校の修了（見込）証明書	出身（在籍）大学長又は研究科長が発行したもの。但し、本研究科を修了した者又は修了見込みの者は提出不要です。
9	出願資格（6）に相当する審査合格確認（証明）書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出願資格（6）で出願の者のみ提出してください。</li> <li>・出身大学長等が作成したもので、下記の内容が記載されたもの</li> </ul> <p><b>【様式例】</b> □□大学としては、本学の学生である◇◇◇◇氏は、「（審査名称）」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを確認し、報告いたします。また、当該審査に関する以下の添付資料を同封します。</p> <p><b>【添付資料の例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該審査の合格の基準</li> <li>・当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す資料</li> <li>・当該大学で博士の学位を授与するプログラムにおいて、当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の取扱いを示す資料</li> </ul>
10	TOEIC あるいは TOEFL の成績	<p>（情報基礎数学専攻の志願者）提出不要です。</p> <p>（情報数理学専攻の志願者）</p> <p>TOEIC あるいは TOEFL のどちらの成績でも可能です。TOEIC 公開テストの公式認定証（Official Score Certificate）または、TOEFL の受験者用控えスコアレポート（Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report）を出願時あるいは入学試験日に提出してください。写しは不可です。入学試験日の再提出を認めます。TOEFL の受験者用控えスコアレポート（Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report）は、オンライン上でのスコアレポートではなく、郵送で受験者の手元に届くスコアレポートが必要です。</p> <p><u>TOEIC 等の成績を入学試験日に提出又は再提出する者は、各試験室において、試験監督者等の指示により成績原本を提出してください。</u></p> <p>但し、「8. 選抜方法（3）但し書き」により、口頭試問中に実施する学力試験に代える場合は提出不要です。</p>

		<p>(コンピュータサイエンス専攻、情報システム工学専攻、情報ネットワーク学専攻、マルチメディア工学専攻、バイオ情報工学専攻の志願者)</p> <p>TOEIC 公開テストの公式認定証 (Official Score Certificate) を、出願時あるいは入学試験日に提出してください。なお、TOEIC の成績の提出が困難な場合には、TOEFL の受験者用控えスコアレポート (Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report) も提出可能です。TOEFL の受験者用控えスコアレポート (Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report) は、オンライン上でのスコアレポートではなく、郵送で受験者の手元に届くスコアレポートが必要です。TOEIC 公開テストの公式認定証も TOEFL の受験者用控えスコアレポートも、どちらも写しは不可です。どちらも入学試験日の再提出を認めます。<u>TOEIC 等の成績を入学試験日に提出又は再提出する者は、各試験室において、試験監督者等の指示により成績原本を提出してください。</u></p> <p>但し、「8. 選抜方法 (3) 但し書き」により、口頭試問中で実施する学力試験に代える場合は提出不要です。</p>
11	住民票又は在留カードの写し	<p>日本に在住する外国人の志願者は、市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票の写し」又は「在留カードの両面の写し」を提出してください。日本人は提出不要です。</p> <p>* 出願者以外の世帯員は、証明不要です。</p> <p>(注) 法務大臣が日本で永住を認めた者は、提出する必要はありません。</p>
12	国費外国人留学生証明書	<p>国費外国人留学生は提出してください。但し、本学に在籍中の者は提出不要です。</p>
13	検定料振込証明書 又は検定料収納証明書	<p>事前に、検定料 30,000 円を指定口座に振り込みのうえ、検定料振込証明書を所定の用紙に貼付してください。</p> <p>必ず、銀行窓口で振込を行い、ATM (現金自動預払機) は利用しないでください。</p> <p>本学大学院博士前期 (修士) 課程を修了し、引き続き後期課程に入学を志願する者は提出不要です。</p> <p>検定料納入システムにより納入する場合は、検定料収納証明書を提出してください。</p> <p>検定料免除を申請する場合は、検定料を払い込まず、検定料免除申請書等必要書類を提出してください。</p>
14	封筒 (受験票送付用)	<p>封筒 (角形 2 号 (33×24 cm)) に志願者の住所・氏名を明記し、140 円切手を貼付してください。</p> <p>なお、日本国外に在住する外国人の志願者は切手の貼付は不要です。</p>
15	発送票	<p>所定の用紙を提出してください。</p>

※ 日本語・英語以外の証明書、文書、資料等については、日本語又は英語訳を添付してください。